

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2009年7月

コミッティ活動

Accounting: 担当森田(tmorita@isda.org)

7月1日、Japan Accounting Committeeの会合が開催され、企業会計基準委員会より公表された、「金融商品会計の見直しに関する論点の整理」についてメンバーにより検討が行われた。このディスカッションペーパーは企業会計基準委員会(ASBJ)と国際会計基準審議会(IASB)との間で2011年を目途として会計基準のコンバージェンスを進めることについて合意された「東京合意」を反映したものであり、論点には、OTCデリバティブに関連する事項—金融商品の対象範囲、時価会計、ヘッジ会計等が含まれる。ISDAは7月29日に意見書を企業会計基準委員会宛に提出した。

Operations: 担当難波(knumba@isda.org)

7月15日、Japan operations Committeeメンバーは、6月のFED Letterに述べられている業界イニシアチブとターゲット、およびそれらが本邦デリバティブ市場と市場参加者に与える影響について議論を行った。

7月29日、OMGメンバーの視点からFED Letterに述べられている方向性をさらに議論するために、外資系ディーラーメンバーによる会合が開催された。両日の会合において、CDSを対象とした電子プラットフォームの導入目標が主に議論された。

Credit Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org) / 難波(knumba@isda.org)

7月8日、Japan CDS Standardization WGの初回会合が開催され、スタンダードクーポンの導入と、その他関連するCDS取引慣行の変更に関する議論が行われた。本邦CDS市場に最適な慣行につきさらに検討するため、約一か月後に次回ミーティングを行うことが合意された。

Japan Credit CCP Working Groupの会合が7月9日、23日、30日に開催され、ワーキンググループメンバーは、日本銘柄を参照とするクレジットを対象とするCCPのあるべきフレームワークについて議論を行った。その結果、商品範囲、参加者、他CCPとのリンク、日本時間でのサポート、規制対応、コスト、ワークフロー、稼働開始目標時期の8項目を論点とすることが同意された。

Equity Derivatives: 担当難波(knumba@isda.org)

7月8日、ISDAはJapan Dividend Swap Working Groupのメンバーに対し、Japanese Dividend Swaps MCA修正のためのドラフトを回覧した。コメント締切日は7月22日。

7月10日と17日の両日、Japan Variance Swaps Working Groupは、Japanese Index Variance SwapsにどのようなMDEルールを適用するべきかについて、電話会議を行った。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

CDS Standardization Working Group (日本語による会議)	8月4日
Japan Collateral Committee (日本語による会議)	8月6日
Credit CCP Working Group (日本語による会議)	tbc